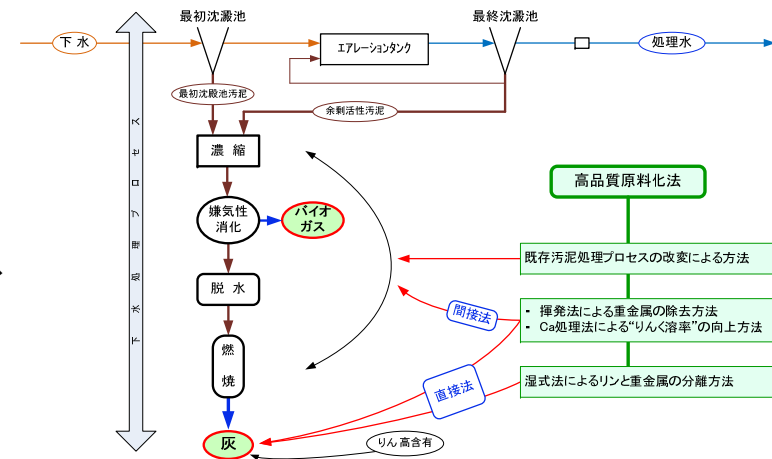


◆下水灰の肥料用原料化技術の開発研究

(2011～2013年度)

共同研究機関: (財)下水道新技術推進機構(中核機関)、名古屋大学大学院工学研究科、岩手大学工学部、東京農業大学応用生物科学部、(独)農業環境技術研究所、(独)土木研究所、月島機械株式会社、株式会社神鋼環境ソリューション
普及支援組織: 日本肥料アンモニア協会

研究概要: 下水灰の肥料原料としての利用を可能とするために、下水灰を構成する成分や微量重金属等について除去方法や制御方法を解明するとともに、これらのプロセス化を既存の下水処理方法を考慮して検討し、実現に向け地域の特性に応じた実用的なシステムを検討する。また、新しいタイプの肥料として公的に使用可能とするための「肥料取締法」への新規登録を目指した試験・評価方法を検討し、その安全基準を提案する。



課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



(財)下水道
新技術推進機構
落 副部長

「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」への応募に当たり、提案書のブラッシュアップ支援をお願いしました。

コーディネーターさんには、行政施策への貢献について適切な助言を頂くと共に、第三者の視点から、限られたスペースの中での表現振り、小課題のネーミングの工夫等についてもコメントを頂きました。

お陰様で採択に至ることができました。コーディネーターさんの丁寧な指導に感謝しています。